

川崎市新技術・新製品開発等支援事業補助金交付申請書

年 月 日

（宛先）川 崎 市 長

本店所在地 _____

企 業 名 _____

代表者職・氏名 _____

事業実施場所 _____

〔連絡担当者〕 氏 名 _____

所 属 ・ 職 名 _____

電 話 番 号 _____

メールアドレス _____

川崎市新技術・新製品開発等支援事業補助金交付要綱第7条の規定により、次のとおり申請します。

事 業 名	
総 事 業 費	千円
補 助 申 請 額	千円
補助対象経費内訳	別紙

◆企業概要

事業内容		資本金	千円 (大企業の出資割合 %)
従業員数	名	創業年月	年 月
主要製品	%	主要取引先	%
	%		%
	%		%

別紙 補助対象経費内訳

費 目	金額 (単位 : 円)
(1) 原材料費 (内訳)	
小 計	
(2) 機械工具費 (内訳)	
小 計	
(3) 産業財産権導入費 (内訳)	
小 計	
(4) 外注加工費 (内訳)	
小 計	
(5) 技術導入提携費 (内訳)	
小 計	
(6) 試験研究費 (内訳)	
小 計	
(7) その他経費 (内訳)	
小 計	
補助対象経費の計	
補助対象外経費 (内訳)	
総事業費	

※消費税を除いた額を記入してください。

事業計画書

事業名	
新製品・新技術の概要	（新技術・新製品の背景、目的、内容等について、300文字程度で具体的に記載すること）
開発内容	（今年度の研究開発（※）の目標、内容等を記載すること。また、開発項目ごとに目標、解決手段、実施内容等を記載すること）
開発スケジュール	（今年度の研究開発のスケジュールを開発項目ごとに記載すること） （※表形式でも可）
共同開発企業 又は機関等	（今年度の研究開発に関して、共同開発を行う企業等があれば記載すること）
新規性・ 独自性	（新技術・新製品に関して、従来の製品等にはない優れた点、模倣されにくい点、自社の強みを活かせる点、知的財産権の取得可能性について記入すること）
市場性	（新技術・新製品の市場ニーズ、市場規模、市場シェアの見込みについて記載すること）
事業化の 見込み	（新技術・新製品の事業化に向けて、今年度の研究開発以外に必要な事項（追加開発、生産・販路開拓の体制整備等）について記載すること）
環境性・社会性	（新技術・新製品が脱炭素をはじめとする環境への貢献、社会や産業界に与える影響を記載すること）
特許・実用新案 （申請中を含む）	
他の補助金の 受入・申請状況	
加点項目	（以下の加点項目及び備考欄への記載は必須ではありません。該当する場合にのみ記載ください。また、加点項目1-1と1-2については、両方に記載も可能ですが、加点対象はどちらか1項目となります。いずれの加点項目についても、審査会にて加点の妥当性が認められた場合のみ、加点対象となります。）
* 加点項目1-1 【デジタル化】	※本事業がデジタル化に資する場合、その理由と効果を記載すること

<p>* 加点項目 1 - 2 【 S D G s 】</p>	<p>※本事業が、気候変動への影響軽減等、SDGsの達成に資する場合、その理由と効果を記載すること</p>
<p>* 加点項目 2【事業継続計画(BCP)】</p>	<p>提出書類 ()</p>
<p>特 記 事 項</p>	<p>※貴社の得意とする技術などPRしたい点があればお書きください。</p>

※ 説明に資料が必要な場合には、別に添付してください。

※ 今年度の研究開発とは、新技術・新製品の事業化のために行う研究開発のうち、今年度、本補助金を活用して取り組む予定の研究開発のことをいいます。